

# Donco新聞

070-2155-3047  
toshi@snow.co.jp  
http://donco.jp



■■■湯沢町議会 29年度3月定例会にて、私は、30年度修正予算案に賛成した。

## ■修正案

- ①フットサルコートナイター照明装置 2,500万円
  - ②東口駅前広場花壇改修 (時計台、花壇撤去) 2,500万円
  - ③緊急告知ラジオ購入、配布 2,559万円
- 上記事業(7,559万円)の削除

一般会計30年度予算  
総額69億8,441万円

## □修正案賛成理由

- ①フットサルコートナイター照明装置

まずは、フットサルコート建設の経緯。フットサルコート建設は、私が4月に議員選挙当選した前の3月定例会で可決した。その当時、田村町長に、激しく抗議をした。「フットサルコート2面建設をして観光でどのように使用していくのか」と。

フットサルコート2面の売上が初めて、29年の夏に結果がでた。夏期売上は5万円くらいである。やはり夏期観光では利益がでていない。

他の夏場の観光地域においては、波崎はサッカーコート100面近く(一部人口芝)、菅平は50面近くある(一部人口芝)。大原スポーツ公園も人口芝の多目的グラウンド、オムニのテニスコートがある。

【問題点】フットサルコート建設にあたって町長は、関係機関先を町観としている。

【理由】町観と相談したならば観光施設。

収入を考えなければならない。

町長の答弁で「子供のためにも建設した。」との理由であれば、体育協会や教育委員会・PTA等と相談した方がより住民のための施設となる。

【問題点】町長の説明で、「テニスコートは需要が少ない。町観でアンケートを実施し、フットサルコートを建設した」とのこと。

【理由】・アンケートでのフットサルコート要望がどれくらいあったのか？

・テニスコートが需要がなかったのではなく、他の地域の施設が人口芝に改修されてきていた。種目ではなく、需要が土から人口芝に移っている。

フットサルコート2面の29年の夏期売上が、5万円くらいの結果を、行政はどのように思われているのか？

「誰が悪いのか責任探しをしろ」と言っているわけではない。目論んだことと違う結果になっているのだから、軌道修正をしなければならない。

計画に軌道修正は付きものである。最初から計画がなければ別の話ではあるが。

町観と相談して、建設した観光施設を売上が伸びない状態で、今度は「子供のために建設した」と説明が変わっている。

計画も無しにスポーツ施設を建設し、今度は、「照明を設置」。

この流れに、町民の意見が反映されているのか？

当初は、資金が無いので巨額な資金を必要とする施設は建設できないという話であった。

フットサルコート関連事業は、ナイター照明も加えれば、1億1,500万円の事業となる。

結構な金額である。

陸上競技場やテニスコート改修にかければ相当な修繕ができる金額である。町民は、この事業のお金の使い方をどのように思っておられるのか、行政は考えて頂きたい。

それに加え、ナイターでのフットサルコートの利用予定計画書もない。

計画書がないままに、週何日使用するのか、月何日使用するのか把握せず、2500万円もかかるナイター照明を設置しようとしている。ましてフットサル連盟もなく、フットサル愛好家

やフットサルをしている子供が何人いるのかわからない状態。

【問題点】行政のフットサルコート照明の設置理由として、「選挙で言われた。」「町長懇談会で言われた。」

【理由】あまりにも抽象的すぎて理由になっていない。

totoの補助金を使用し設置するのであっても、維持費はかかる。照明料金は、湯沢町民が使用する際でも徴収しなければならない。何人で何回使用するのか不明の状態の中では、料金設定もできない。メンテナンスが、1年でいくら、耐用年数（帳簿上ではなく実際の耐用年数）が何年、周期的な維持管理はいくらかかるのかも示されていない。照明設置は無計画の中で設置されようとしている。

### ②東口駅前広場花壇改修（時計台、花壇撤去）

今年度、越後湯沢駅西口ロータリー改修事業が始まります。

この西口ロータリーの改修で現状と同数の駐車スペースは確保されていません。駐車する車や送迎の車は東口に集中することが予想されます。

行政は、東口のロータリーに対する対策は述べられていません。現在東口は、繁忙期には、送迎の車、駐車する車で大変混雑してロータリーにさえ進入することができない状態にあります。

東口のロータリーの中央通路を撤去し、ぐるりと楽々外周を使用し、送迎しやすい駐車場に改修する計画の中で、現在の時計台、花壇を撤去するのであれば賛成します。

東口全体の改修計画の無い今の段階で、東口駅前広場花壇改修は賛成できません。

### ③緊急告知ラジオ購入、配布

ラジオ配布は、これまで消防関係、町内会長、議会等に配布されており、町内会で必要な台数を把握し、配布するべきと考えます。現在の段階では、湯沢独自の情報をすぐに流せず、Jアラートの方が早い状態です。3,000台分の予算を計上で、2,559万円。

一個配布するのに、8,530円の経費となっている。

配布個数をしっかりと計画してから実施して頂きたい。

### ■総論

今、湯沢町に必要な政策。

それは、人口維持政策と外貨を得る政策。

人口維持政策は、行政は移住定住促進事業として行われている。

起業するにあたって補助金を出している。

その補助金を利用して起業して頂いた事業者に外貨を稼ぎお金を回さなければ補助金が無駄金となってしまふ。

これからの湯沢町に観光事業として建設される建物、構築物は外貨を稼ぎお金を回すものではないといけない。

これから、町長の任期4年の短期計画は述べられていませんでした。予算から拾いだすと

- ・童画美術館建設事業
- ・魚野川右岸遊歩道設置事業
- ・路線バスによる、高齢者交通移動手段事業
- ・16億かけた松川下水処理場停止対応政策事業
- ・ノリタ跡地の起業誘致事業
- ・中子分譲地売買促進事業
- ・湯沢駅西口改修事業
- ・湯沢町西山通り改修事業
- ・湯沢高原維持運用対策事業
- ・橋梁、道路構築物点検補修事業

予算以外で早急にしなければならない事業

- ・湯沢駅東口ロータリー改修事業
- ・中子分譲地、湯沢学園残土処理事業
- ・外貨を稼ぎ、湯沢町にお金を回す事業
- ・オリンピックに向けたインバウンド誘客事業
- ・スポーツ公園各施設補修改修事業

どれも多額の費用がかかります。

いつまでも「ふるさと納税」システムが継続するとは思いません。

田村町長の任期4年の中で、2020年問題に向かえます。それまでに、湯沢の生き残る手段、計画を行政は持って頂きたい。この4年は新潟県や湯沢町にとって大切な年となることを考えて頂きたい。世界の流れの中の湯沢町がどのように生き抜いていくか、行政、議会、町民と共に考えていかねばならないと思います。